

2022年度版で、例としてこのような独自の登録を行っています。

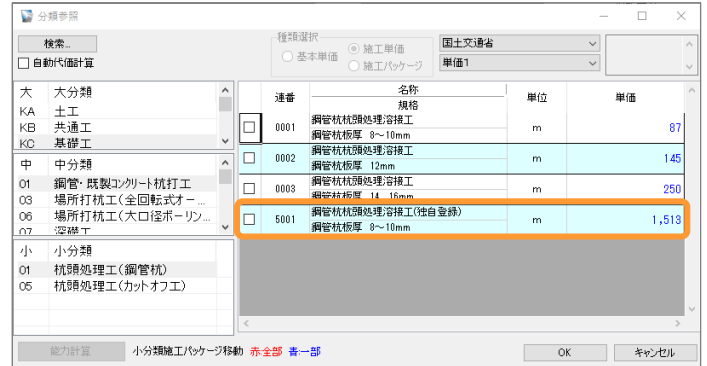
基本単価 UK-00-05に独自で分類を作成

基本単価 UK-00-05-0005～0015を登録

施工単価 KC-01-01-5001 を登録

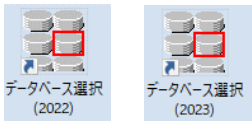
お客様が独自に設定している項目のみ抽出してください。

- 1 分類の抽出
- 2 基本単価の抽出
- 3 施工単価の抽出



0. 確認事項とデータ転送の準備

0-1 2022年度版ではコピーしたい独自単価などのデータが入っているデータベースを選択している、2023年度版では独自の単価などを反映したいデータベースを選択していることを確認してください。



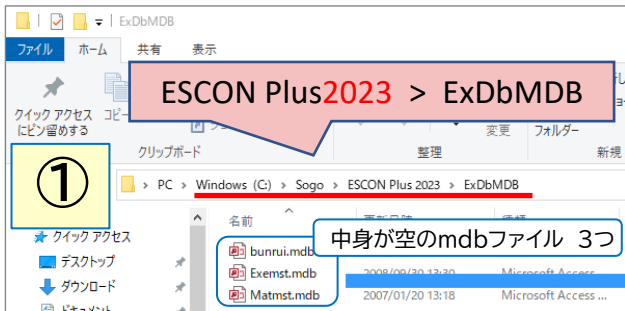
重要

2022、2023共に正しいデータベースを選択していること。毎回 空のmdbファイルを使うこと。

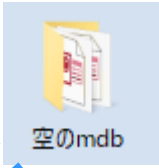
0-2 独自のデータを仲介するために抽出する先として、中身が空のmdbを用意します。

2023年度版の①フォルダに空のmdbファイルが3つありますので、3つ全てを任意の場所にコピーで保存してください。(別の都市分を抽出する際などに毎回空のmdbを使用します)

初回のみ
の作業



任意の場所に退避



上書き
貼付け



退避した空のmdbファイル3つを2022年度版の②フォルダに上書きで貼付してください。

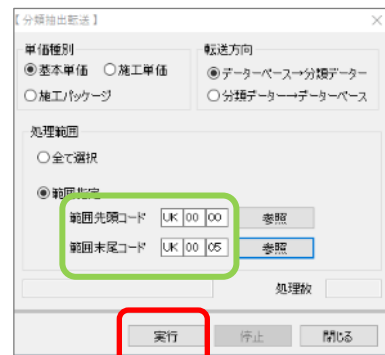
1～3の行う順番は変わっても問題ありません。

1～3 の必要なものの抽出が終わりましたら、次の4にお進みください。

1. 分類を抽出します。

2022年度版のマスター保守を開いてください。

直接入力または [参照] から選択できます。

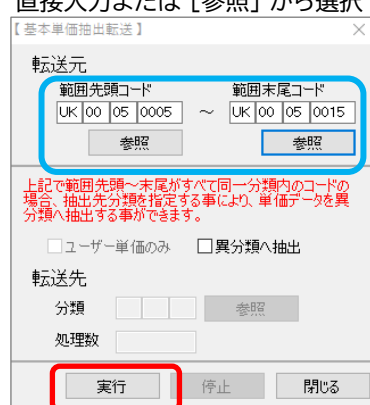
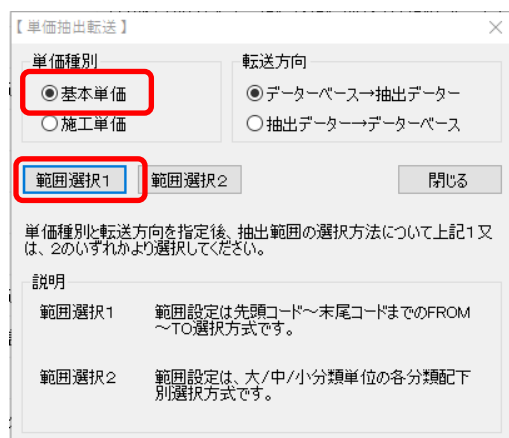


2. 基本単価を抽出します。

2022年度版のマスター保守を開いてください。



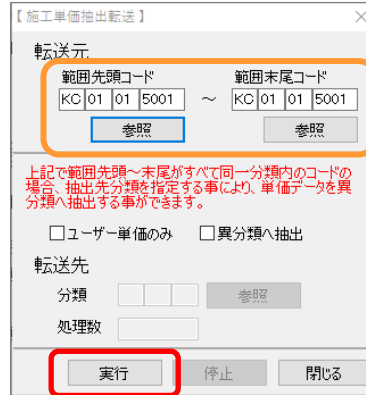
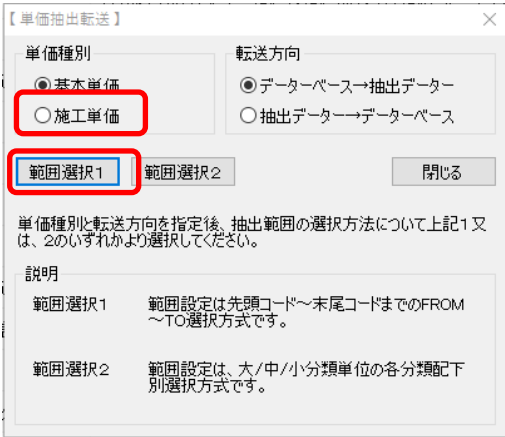
直接入力または [参照] から選択できます。



3. 施工単価を抽出します。

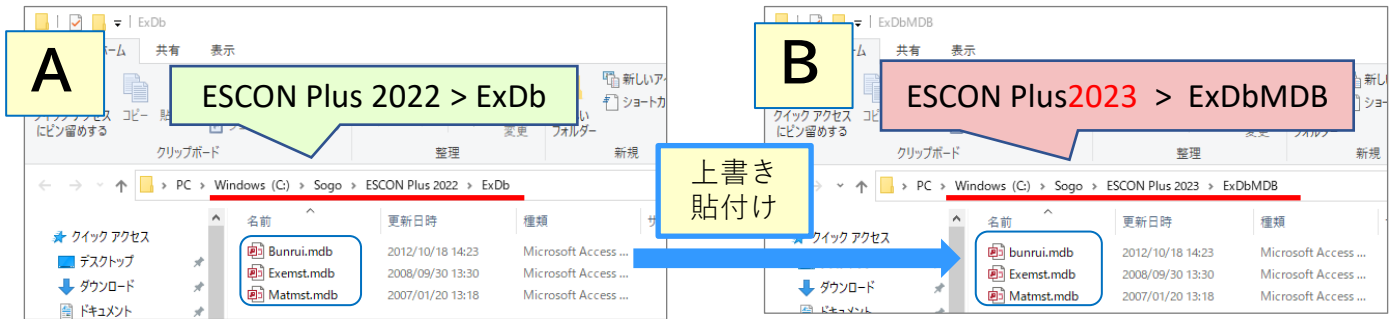
単価抽出転送で 施工単価に切替えます。

直接入力または [参照] から選択できます。

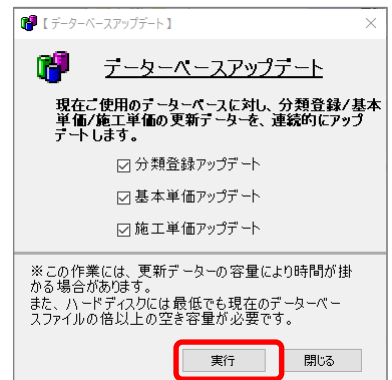
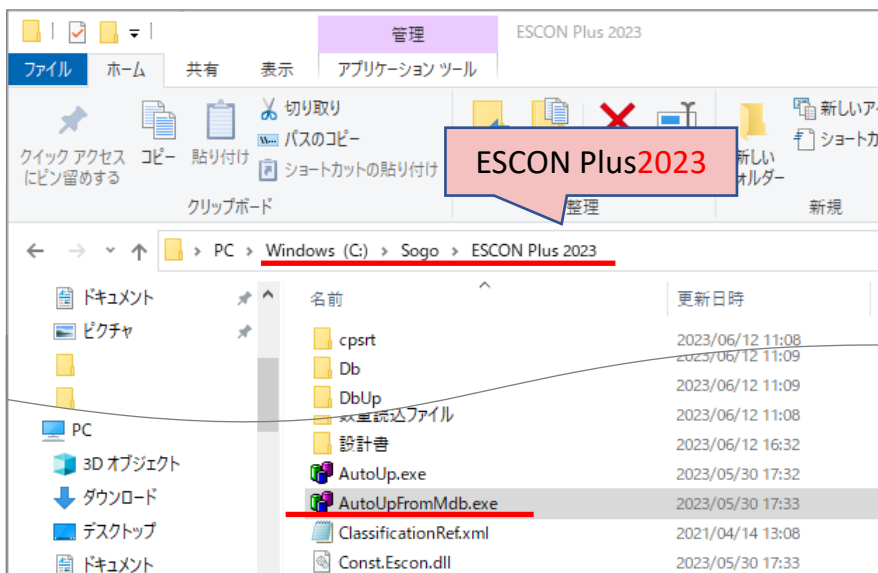


4. 抽出されたmdbを2023年度版の所定のフォルダに保存します。

2022年度版のAフォルダに用意した空のmdbファイルに抽出されています。
2023年度版のBフォルダに上書きで貼付してください。



5. ESCON Plus2023 フォルダ内の AutoUpFromMdb.exe を実行します。



これで抽出転送は完了です。2023年度版のマスター保守で、正しく転送されたかご確認ください。

別の都市を抽出転送する場合、やり直す場合などは必ず手順0-1 から行ってください。